

インド

主要データ

国名〔英名〕	インド〔India〕
面積(km ²)	3,287,263
海岸線延長(km)	7,000
人口(百万人)	1,220.8
人口密度(人/km ²)	371.4
GDP(十億 US\$)	1,824.83
一人当り GDP(US\$)	1,492
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、クロム、マンガン、亜鉛
主要鉱産物：地金	アルミニウム、銅、亜鉛
鉱業管轄官庁	鉱山省(Ministry of Mines)
鉱業関連政府機関	地質調査所(GSI: Geological Survey of India)、鉱山局(IBM: Indian Bureau of Mines)
鉱業法	鉱山鉱物(開発規制)法(Mines and Minerals (Development and Regulation) Act, 1957) 国家鉱物政策(National Mineral Policy 2008)
ロイヤルティ	Mineral Concession Rules, 1960 The Cess and Other Taxes on Minerals (Validation) Act, 1992
外資法	外国為替規制法(1999)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	森林(保護)法(Forest (Conservation) Act, 1980)
鉱業公社	National Aluminium Company Ltd. (NALCO)、Hindustan Copper Ltd. (HCL)、Indian Rare Earth Ltd.、鉱物探鉱公社(MECL: Mineral Exploration Corporation Ltd.)
鉱業活動中の民間企業	Vedanta Resources Plc. India Resources Ltd.
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	2012年9月、主要鉄鉱石生産地のゴア州において、州政府は、違法採掘により損害額が大きく膨らんでいること、環境破壊が進んでいることへの対策として、鉱物採掘の全面禁止措置を発動。
2012年のトピックス	新鉱山鉱物(開発規制)法案(Mines and Minerals (Development and Regulation) Bill)が、2011年9月の閣議決定を経て、同年12月に国会に提出された。2013年6月時点で国会審議中。

1. 鉱業一般概況

(1) 全般

インド鉱業の特徴は、小規模鉱山が多数存在することに加え、国営企業又は Public Sector Undertakings (PSUs)とも呼ばれる National Aluminium Co. (NALCO: アルミ)、Steel Authority of India (SAIL: 鉄鉱石)、National Mineral Development Co (NMDC: 鉄鉱石)、Coal India (石炭)、Hindustan Copper (HCL: 銅 HCL)などを代表とする、過半数の株式をインド政府が保有している公社的企業を中心に鉱業活動が行われていることである。これらの企業がインド鉱業生産額の85%を占めるとも言われている。

現在、インド鉱山各社は、拡大する国内需要に対応するため、以下のような鉱山開発・拡張を計

画している。

表 1-1. 鉱山・製錬所開発・拡張計画

企業	鉱山	開発・拡張内容	完了予定時期
NALCO	Pattangi 鉱山他	ポーキサイト年産：150 万 t	2014 年
NALCO	Baster 鉱床	ポーキサイト鉱石量：3 億 t	未定
NMDC	Kumaraswamy 鉱山	鉄鉱石量：3 億 t	2013-15 年
NMDC	Bailadila 鉱山	鉄鉱石年産：700 万 t	未定
NMDC	Domimalai 鉱山(拡張)	鉄鉱石年産：400-700 万 t	2015 年
SAIL	Rowghat 鉱山	鉄鉱石年産：1,400 万 t	2014-15 年
SAIL	Chiria 鉱床	鉄鉱石年産：500-700 万 t	2012-13 年
Hindustan Zinc	Sindesar Khurd 鉱山	鉛年産：3 万 t 亜鉛年産：6.5 万 t	2012-13 年
Hindustan Zinc	Rampura-Agucha 鉱山(拡張)	鉛年産：7.3 万 t 亜鉛年産：75 万 t	2012-13 年

(出典：各社 Annual Report 他)

(2) 鉱種別

① 銅

インドで銅精鉱を生産しているのは Hindustan Copper Ltd. である。2012 年生産量は 3 万 4,400t となり、前年生産量 3 万 6,100t に対し、4.7%の減となった。銅カソードは Hindustan Copper Ltd.、Sterlite Industries、Birla Copper (いずれも印) の 3 社が銅精鉱から生産し、Jhagadia Copper Ltd. が主に二次原料から生産している。2012 年生産量は、前年比 4.2%増の 68 万 9,300t となった。

② 鉛・亜鉛

Hindustan Zinc Ltd. 及び Binani Zinc Ltd. などの生産により、鉛・亜鉛の 2012 年生産量は、鉛精鉱は前年比 22.3%増の 11 万 5,100t、鉛地金は 22.0%増の 46 万 3,400t、また、亜鉛精鉱も前年比 11.2%増の 81 万 4,800t となったが、亜鉛地金は 12.4%減の 69 万 800 t となった。

③ アルミニウム

ポーキサイトの 2012 年の生産量は 1,532 万 t となり、前年度生産量 1,300 万 t に対し 17.8%の増となった。アルミニウムは、NALCO ほか 5 社が一次原料から生産しており、2012 年の生産量は 171 万 3,900t となり、前年度比 3.3%の増となった。

④ 鉄鉱石

国内生産量第 2 位、輸出量第 1 位のゴア州における 2012 年 9 月からの鉱物採掘禁止措置の影響により、鉄鉱石の 2012 年生産量は大きく減少し、対前年比 25.8%減の 1 億 7,800 万 t となった。

⑤ マンガン鉱石、クロム鉱石

マンガン鉱石の 2012 年生産量は前年比 14.4%減の 218.7 万 t、クロム鉱石は前年比 12.5%減の 414.5 万 t となった。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 鉱業法改正の動き

政府は、鉱物生産量の増大を図るべく探鉱開発事業への外国企業からの投資を促進させる目的のため、2005 年以降、国家鉱物政策 (National Mineral Policy : NMP) の変更及び鉱山鉱物 (開発規制) 法改正の検討に着手し、まず、2008 年 3 月に、政策指針としての国家鉱物政策 (National Mineral Policy : NMP, 2008) を策定した。内容の主なものは以下のとおり。

① 外国資本投資の促進策

概査許可 (RP) の非独占化、広域探査権 (LAPL : Large Area Prospecting License) の導入、ライセンスの保障、既知鉱床の入札、探査権 (PL) 譲渡の許可、ライセンス付与手順の適正化、ライセンス発行の迅速化、データベース整備、監督機関の設置

② 地域社会に対する貢献政策

環境保護の要求、企業の社会的責任、森林補償、手続簡素化、環境管理計画の簡素化、インフラ整備の必要性、鉱山開発基金設置

③ 産業の強化策

鉱山開発公社の業務拡大、付加価値化問題、ロイヤルティの増強、海砂鉱物の開発

さらに、政府は NMP2008 の内容を法制化すべく、2009 年 7 月以降、中央政府関係省庁、各州政府、業界、市民団体などを含んだ幅広いステークホルダーと幾度かの検討会、ワークショップを重ね、新鉱山鉱物(開発規制)法案(Mines and Minerals (Development and Regulation) Bill)の策定に取り組んだ。2011 年 9 月、最終案が閣議決定され、同年 12 月にインド国会下院に提出された。2013 年 6 月現在、国会審議中で、承認待ちの状態である。

最終法案には、最大の論点の一つであった、関連企業がその利益を事業によって影響を受ける者に還元することの義務付け(Profit Sharing)が導入されることとなった。当初の案では、一律利益の 26%となっていたが、最終的に、石炭事業者のみにこの率が適用され、その他の鉱山事業者には、ロイヤルティと同率の利益還元が、ロイヤルティとは別に、課される内容となっている。

(2) ロイヤルティの改正

2009 年 8 月、ロイヤルティ率が改正された。非金属鉱物の一部とともに鉄鉱石は従量制から従価制に変更(銅を始めとする非鉄金属は従来から従価制)されており、従量制、従価制ともに、価格及び率が上がっている。主なものは以下のとおり。

表 2-1. ロイヤルティ新旧対照表

鉱物	新(2009年8月制定)	旧(2004年11月制定)
銅	Cu含有量に対しLME銅価格の4.2%	Cu含有量に対しLME銅価格の3.2%
鉛	Pb含有量に対しLME鉛価格の7%	Pb含有量に対しLME鉛価格の5%
亜鉛	Zn含有量に対しLME亜鉛価格の8%	Zn含有量に対しLME亜鉛価格の6.6%
ボーキサイト、ラテライト	・Al含有量(アルミナ又はアルミ生産用途を除く)に対しLMEアルミ価格の0.5% ・売価(アルミナ又はアルミ生産、輸出用途を除く)の25%	・Al含有量(アルミナ又はアルミ生産用途を除く)に対しLMEアルミ価格の0.4% ・売価(アルミナ又はアルミ生産、輸出用途を除く)の20%
鉄鉱石	売価の10%	・Fe含有量65%以上:27ルピー/t ・同上62以上65%未満:16ルピー/t ・同上62%未満:11ルピー/t
マンガン鉱	・鉱石:売価の4.2% ・精鉱:売価の1.4%	・鉱石:売価の3% ・精鉱:売価の1%
クロム鉱	売価の10%	売価の7.5%

鉱山省は2011年9月に省内スタディ・グループを設置し、新鉱山鉱物(開発規制)法案の内容に合わせ、石炭を除く鉱物資源のロイヤルティ率及び鉱区料の見直し作業を進めている。

(3) 国営企業民営化

政府は、国営企業の民営化政策に従い、他セクターの国営企業とともに鉱業セクター国営企業株一部を売却する方針である。売却が検討されているのは、Hindustan Copper (HCL:銅)、National Mineral Development Co (NMDC:鉄鉱石)、Steel Authority of India (SAIL:鉄鉱石)、National Aluminium Company Ltd. (NALCO:アルミニウム)であり、このうち、2013年7月にHCL株式4.01%が株式市場での入札を通じ約26億ルピーで売却実行された。他の国営企業株も、2013年以降順次株式5~10%を売却する方針である。

(4) ゴア州採掘禁止措置

2012年9月、鉄鉱石生産量国内第2位で輸出量の半分以上を占めるゴア州において、州政府は、違法採掘により損害額が大きく膨らんでいること、環境破壊が進んでいることへの対策として、鉱物採掘の全面禁止措置を発動した。同州の委員会の報告では、2006年から2011年までに約1億2,700万tの鉄鉱石が違法採掘され、その損害額は3,494億ルピー（約4,900億円）に上ると報告された。また、この措置の期限は特定されておらず、同州では合法、違法を問わず、全面的に採掘が禁止されており、特に鉄鉱石生産への長期的な影響が大きく懸念されている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年増減比(%)
銅(千t)	35.5	36.1	34.4	-4.7
鉛(千t)	90.7	107.3	115.1	22.3
亜鉛(千t)	739.8	733.0	814.8	11.2
ボーキサイト(千t)	12,662.0	13,000.0	15,320.0	17.8
金(t)	2.3	2.3	1.7	-24.1
銀(t)	165.1	203.5	374.0	83.8
クロム(千t)	3,978.0	4,145.0	3,312.0	-12.5
マンガン(千t)	2,745.0	2,554.0	2,187.0	-14.4
チタン(千t)	189.7	164.5	133.4	-18.9
ウラン(t)	350.0	400.0	400.0	0.0
鉄鉱石(マテリアル千t)	212,000	196,000	-	-

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2013、Steel Statistical Yearbook 2012)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年増減比(%)
銅(千t)	647.5	661.6	689.3	4.2
鉛(千t)	365.9	379.9	463.4	22.0
亜鉛(千t)	700.9	790.4	690.8	-12.4
錫(千t)	3.6	3.6	3.6	0.0
アルミニウム(千t)	1,609.9	1,659.7	1,713.9	3.3
コバルト(t)	1,187.0	1,299.0	800.0	-38.4
カドミウム(t)	632.4	616.3	613.0	-0.5
粗鋼(千t)	68,976	73,590	-	-

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2013、Steel Statistical Yearbook 2012)

(3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年増減比(%)
銅(千t)	514.1	402.2	455.8	13.3
鉛(千t)	190.9	188.6	524.4	25.0
亜鉛(千t)	537.7	575.8	561.0	0.8
錫(千t)	10.7	9.7	10.0	-1.3
アルミニウム(千t)	1,474.8	1,611.4	1,690.0	7.7
ニッケル(千t)	27.2	26.0	31.4	16.6
カドミウム(t)	469.1	366.1	483.2	37.9
粗鋼(千t)	69,244	73,671	-	-

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2013、Steel Statistical Yearbook 2012)

(4) 主要金属輸出入

表 3-4. 精鉱・地金等輸出入量(マテリアル量)

鉱種	2010年	2011年	2012年	2011年 増減比 (%)	主な輸出相手国 (3か国程度)	HSコード*
銅鉱 (千t)	40.1	8.0	0.0	-99.6	イタリア、米国、サウジアラビア	260300
鉛鉱 (千t)	50.2	92.5	0.0	-100.0	スリランカ、U. A. E、ウガンダ	260700
亜鉛鉱 (千t)	256.7	273.7	0.0	-100.0	日本、カナダ	260800
ボーキサイト (千t)	252.9	399.2	1,674.9	319.6	中国、カタール、クウェート	260600
コバルト鉱 (千t)	26.1	25.0	12.0	-52.0	中国	260500
錫鉱 (t)	4.0	1.7	0.0	-100.0	-	260900
マンガン鉱 (千t)	225.7	69.5	83.8	20.7	中国、日本、スリランカ	260200
クロム鉱 (千t)	348.0	137.3	258.2	88.0	中国、日本、スペイン	261000
タングステン鉱 (千t)	0.0	0.4	0.1	-74.7	ベトナム、イタリア	261100
焙焼モリブデン鉱 (t)	0.8	4.6	4,527.5	98752.6	カナダ、ケニア、クウェート	261310
モリブデン鉱 (t)	956.1	54.4	0.0	-	-	261390
チタン鉱 (千t)	1,139.5	1,469.0	881.7	-40.0	中国、オランダ、日本	261400
ジルコン鉱 (千t)	14.7	47.8	45.2	-5.4	中国、イラン、ドイツ	261510
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (t)	63.4	25.4	0.0	-100.0	-	280530
水銀 (t)	55.1	62.7	50.3	-19.8	PNG、スリランカ、スーダン	280540
コバルト酸化物・水酸化物 (t)	57.2	116.4	3.6	-96.9	スリランカ、サウジアラビア、イラク	282200
バナジウム酸化物・水酸化物 (t)	1.8	12.1	9.7	-19.3	バングラデシュ、ケニア、オマーン	282530
タングステン酸塩 (t)	16.4	52.5	25.4	-51.6	米国、イタリア、イスラエル	284180
セリウム化合物 (t)	73.2	219.7	32.4	-85.3	中国、ドイツ、オランダ	284610
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く) (t)	2.7	36.6	72.5	98.2	U. A. E、中国、英国	284690
銀 (t)	48.8	41.0	73.8	80.0	ベルギー、米国、スイス	710610, 710691, 710692
金 (kg)	38,277.0	149,516.0	111,664.0	-25.3	U. A. E、韓国、ベルギー	710811, 710812, 710813
白金 (kg)	121.0	161.0	162.0	0.6	米国、イスラエル、英国	711011, 711019
ロジウム (kg)	0.0	0.0	26.0	-	スウェーデン、英国、米国	711031, 711039
フェロマンガン (千t)	99.6	151.1	165.7	9.7	台湾、韓国、イラン	720211, 720219
フェロシリコマンガン (千t)	548.9	782.5	929.5	18.8	日本、イタリア、オランダ	720230
フェロクロム (千t)	877.6	980.6	569.3	-41.9	中国、韓国、日本	720241, 720249
フェロバナジウム (t)	162.8	117.2	427.7	265.1	モーリシャス、オランダ、U. A. E	720292
精製銅 (千t)	554.5	442.1	254.4	-42.5	中国、ベトナム、エジプト	740311, 740319
アルミニウム (千t)	323.9	277.0	242.6	-12.4	韓国、バングラデシュ、中国	760110
鉛地金 (千t)	35.1	156.1	27.7	-82.3	韓国、サウジアラビア、マレーシア	780110
亜鉛地金 (千t)	240.9	275.9	209.4	-24.1	韓国、台湾、中国	790111, 790112
錫地金 (t)	70.1	102.1	95.3	-6.6	シンガポール、米国、ナイジェリア	800110
コバルト (t)	186.2	213.2	138.4	-35.1	オランダ、韓国、英国	810520

アンチモン (t)	515.9	1,420.7	1,884.4	32.6	米国、パキスタン、タイ	811010
-----------	-------	---------	---------	------	-------------	--------

(出典：Global Trade Atlas)

(注)「0」は単位未満の取引、「-」は統計なし

(5) 主要金属輸入量

表 3-5. 精鉱・地金等輸入量(マテリアル量)

鉱種	2010年	2011年	2012年	2011年 増減比 (%)	主な輸入相手国 (3か国程度)	HSコード*
銅鉱 (千t)	2,069.5	1,939.8	1,927.2	-0.6	チリ、豪州、インドネシア	260300
鉛鉱 (t)	8,691.3	29,499.9	57,196.3	93.9	豪州、メキシコ、ペルー	260700
亜鉛鉱 (t)	83,898.8	62,037.3	112,834.0	81.9	豪州、ペルー、サウジアラビア	260800
ボーキサイト (t)	57,314.3	77,922.5	75,977.9	-2.5	中国、パキスタン、南ア	260600
マンガン鉱 (千t)	1,205.2	1,817.2	2,367.4	30.3	南ア、豪州、ガボン	260200
コバルト鉱 (t)	8,145.8	1,325.1	554.9	-58.1	コンゴ、DRコンゴ、豪州	260500
クロム鉱 (千t)	115.3	104.6	212.2	102.8	オマーン、南ア、トルコ	261000
タングステン鉱 (t)	1.0	64.8	368.5	468.5	イスラエル、英国、チェコ	261100
焙焼モリブデン鉱 (t)	4,124.6	4,840.8	6,059.7	25.2	チリ、米国、タイ	261310
モリブデン鉱 (t)	172.6	177.5	623.7	251.4	米国、メキシコ、シンガポール	261390
チタン鉱 (t)	70,826.0	68,027.7	76,706.8	12.8	モザンビーク、スリランカ、豪州	261400
ジルコン鉱 (t)	46,556.1	57,670.0	28,479.2	-50.6	豪州、南ア、タイ	261510
アンチモン鉱 (t)	2,171.4	3,119.5	4,668.0	49.6	南ア、中国、イタリア	261710
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (t)	371.7	156.1	309.6	98.3	中国、香港、米国	280530
水銀 (t)	280.8	187.2	123.0	-34.3	米国、日本、フィンランド	280540
コバルト酸化物・水酸化物 (t)	108.8	246.7	166.7	-32.4	ベルギー、中国、フィンランド	282200
バナジウム酸化物・水酸化物 (t)	927.5	1,022.4	658.3	-35.6	中国、ドイツ、タイ	282530
タングステン酸塩 (t)	4.1	0.8	7.7	834.1	中国、米国、ドイツ	284180
セリウム化合物 (t)	352.0	438.5	244.3	-44.3	中国、米国、日本	284610
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く) (t)	339.5	283.2	90.2	-68.1	フランス、中国、英国	284690
銀 (t)	2,813.1	4,719.3	2,147.3	-54.5	英国、韓国、台湾	710610, 710691, 710692
金 (t)	971.1	1,081.7	982.7	-9.2	スイス、U.A.E、南ア	710811, 710812, 710813
白金 (t)	2.1	2.9	3.3	15.3	英国、ドイツ、南ア	711011, 711019
パラジウム (t)	2.4	2.0	2.9	43.2	日本、英国、米国	711021, 711029
フェロマンガン (千t)	36.2	29.6	40.7	37.3	南ア、韓国、ノルウェー	720211, 720219
フェロシリコマンガン (千t)	2,090.0	6,249.2	9,625.0	54.0	サウジアラビア、南ア、U.A.E	720230
フェロクロム (千t)	22.2	25.8	34.7	34.5	南ア、ロシア、中国	720241, 720249
フェロニッケル (千t)	9.9	6.4	24.2	280.9	日本、ブラジル、ニューカレドニア	720260
フェロバナジウム (千t)	0.8	1.1	0.6	-40.8	中国、南ア、日本	720292

精製銅 (千t)	7.5	12.0	19.2	60.5	ザンビア、チリ、ブータン	740311, 740319
精製ニッケル (千t)	23.9	25.2	36.9	46.2	ロシア、豪州、ノルウェー	750210, 750400
アルミニウム (千t)	104.1	92.9	146.3	57.6	オマーン、南ア、U. A. E	760110
鉛地金 (千t)	94.0	77.6	95.2	22.7	豪州、韓国、U. A. E	780110
亜鉛地金 (千t)	74.3	56.5	77.7	37.5	U. A. E、韓国、カザフスタン	790111, 790112
錫地金 (t)	7,175.6	6,666.6	8,003.0	20.0	マレーシア、インドネシア、タイ	800110
マグネシウム (t)	11,237.8	10,996.2	12,801.0	16.4	中国、ドイツ、日本	810411, 810419, 810430
コバルト (t)	648.4	947.7	543.7	-42.6	ノルウェー、ベルギー、米国	810520
アンチモン (t)	673.5	455.4	563.3	23.7	中国、ベトナム、シンガポール	811010
マンガン (千t)	12.2	15.7	19.9	26.5	中国、ベトナム、南ア	811100
クロム (t)	452.5	604.2	479.0	-20.7	ロシア、英国、中国	811221

(出典：Global Trade Atlas)

(注)「0」は単位未満の取引、「-」は統計なし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(千t)	備考
Khetri Copper Complex (Khetri, Kolihan, Banwas、各鉱山)	Hindustan Copper Ltd. (100)	銅(精鉱中含量)	31.4	2011-2012年度(2012.3末期)生産実績
Malanjkhand Copper Project				
Indian Copper Complex (Surda 鉱山)				
Rampura Agucha 鉱山	Hindustan Zinc Ltd. (100)	亜鉛(精鉱中含量)	677.3	2012-2013年度(2013.3末期)生産実績
		鉛(精鉱中含量)	65.6	
Sindesar Khurd 鉱山		亜鉛(精鉱中含量)	52.6	
		鉛(精鉱中含量)	32.2	
Rajpura Dariba 鉱山		亜鉛(精鉱中含量)	25.2	
		鉛(精鉱中含量)	5.1	
Zawar 鉱山		亜鉛(精鉱中含量)	9.6	
		鉛(精鉱中含量)	2.6	

(出典：各社 Annual Report)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産量(千t)	備考
Khetri Copper Complex (操業停止中)	Hindustan Copper Ltd. (100)	銅地金	28.4	2011-2012年度(2012.3末期)生産実績
Indian Copper Complex				
Tuticorin Complex	Sterlite Industries (India) Ltd. (100)	銅地金	353.0	2012-2013年度(2013.3末期)生産実績
Silvassa Complex				
Dahej 製錬所	Birla Copper Ltd. (100)	銅地金	315.0	2012-2013年度(2013.3末期)生産実績
Chanderiya Smelting Complex	Hindustan Zinc Ltd. 100%	亜鉛地金	443.1	2012-2013年度(2013.3末期)生産実績
		鉛地金	60.2	
Dariba 製錬所		亜鉛地金	165.4	

		鉛地金	64.7	
Debari 製錬所		亜鉛地金	68.4	
Vizag 製錬所 (操業休止)		亜鉛地金	—	
Binani 製錬所	Binani Zinc Ltd. 100%	亜鉛地金	25.2	2011-2012 年度 (2012. 3 末期) 生産実績
Angul 製錬所	National Aluminium Co. Ltd. 100%	アルミニウム	413.1	2011-2012 年度 (2012. 3 末期) 生産実績
Renukoot 製錬所	Hindalco Industries Ltd. 100%	アルミニウム	542.0	2012-2013 年度 (2013. 3 末期) 生産実績
Hirakud 製錬所				
Kobra 製錬所	Bharat Aluminium Co. Ltd 100%	アルミニウム	247.0	2012-2013 年度 (2013. 3 末期) 生産実績
Jharsuguda 製錬所	Vedanta Aluminium Ltd. 100%	アルミニウム	527.0	2012-2013 年度 (2013. 3 末期) 生産実績

(出典：各社 Annual Report)

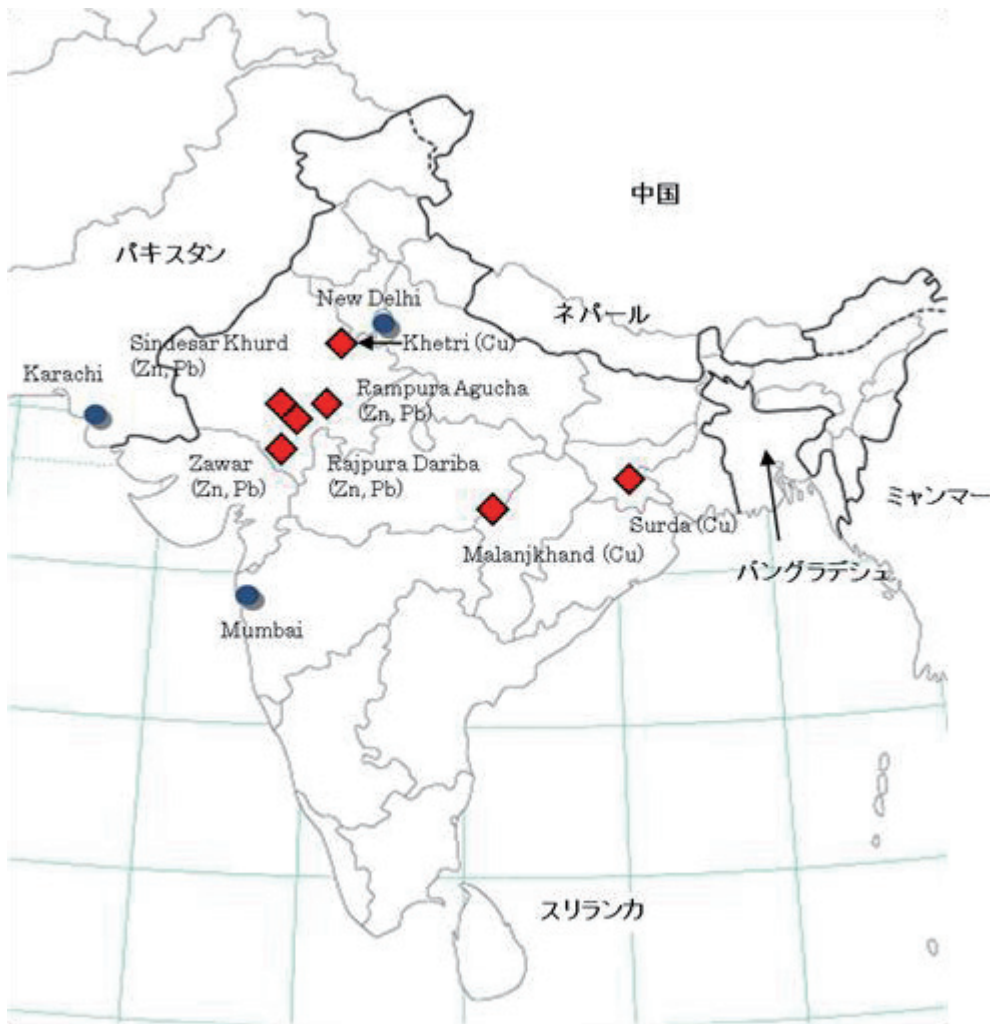


図 1. 主要鉱山位置図

5. 探鉱状況

主なものとして、Hindustan Zinc(印)が Rajasthan 州で Bamnia Kalan 鉛・亜鉛プロジェクト、India Resources 社がインド東部での Bonai 鉄鉱石プロジェクト、Aravalli 鉛・亜鉛プロジェクト、国営 Mineral Exploration Corp Ltd が Rajasthan 州で Ganeshpur 鉛・亜鉛プロジェクトなどを実施している。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量(マテリアル量)

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年増減比(%)
アルミニウム地金 (千t)	16.0	13.2	0.0	-99.7
ボーキサイト (千t)	125.4	134.3	234.8	74.8
クロム鉱石 (千t)	79.0	39.8	14.8	-62.8
フェロクロム (千t)	100.7	63.4	62.0	-2.2
コバルト地金 (t)	11.7	0.3	3.1	933.3
鉄鉱石 (千t)	5,332.2	3,456.4	2,680.3	-22.5
銅地金 (千t)	0.4	6.9	0.1	-98.6
フェロシリコマンガ (千t)	121.8	128.7	141.8	10.2
フェロマンガ (千t)	6.0	1.8	7.0	289.6
マンガ鉱石 (千t)	25.3	-	0.0	-
亜鉛地金 (千t)	-	5.4	0.2	-96.3
アンチモン地金 (t)	-	62.0	167.2	169.7
ジルコニウム鉱石 (t)	-	432.0	587.0	35.9
タンタル (t)	-	1.1	0.5	-54.5

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

豊田通商は、2010年12月、インド・オリッサ州にある同社の現地法人 Toyotsu Rare Earths Orissa Private Ltd. を通じ、オリッサ州において、インド原子力傘下企業の Indian Rare Earths Limited (IRE 社) との共同事業としてレアアース酸化物製造工場を建設する計画を発表した。その後、両社の計画が進展する中、2012年11月、日・印両政府間によるレアアース共同生産に関する MOU が締結され、本事業が中核的な事業として位置付けられた。共同事業では、IRE 社が保有するモナザイト鉱石残渣からセリウム、ランタン、ネオジム等のレアアースを抽出し、2013年後半からを目途に、年間約4,000tを日本向けに輸出する計画。

7. その他トピックス

特になし

(2013. 7. 30 ジャカルタ事務所 高橋健一)